

## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 エコミック  
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	970	19.2	112	121.7	112	102.8	76	77.5
2019年3月期第3四半期	814	15.9	50		55		43	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 68百万円 (92.8%) 2019年3月期第3四半期 35百万円 (432.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	47.84	47.60
2019年3月期第3四半期	26.98	26.82

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	886	683	76.9	424.55
2019年3月期	724	628	86.4	389.96

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 681百万円 2019年3月期 626百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		8.00	8.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,300	20.8	130	36.9	131	28.2	88	14.6	54.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	1,605,600 株	2019年3月期	1,605,600 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	株	2019年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	1,605,600 株	2019年3月期3Q	1,604,284 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しにより、緩やかに回復しております。今後も雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くと見られます。しかし一方で、少子高齢化・人口減少が進む中で、人材不足を克服し持続的な経済成長につなげるためには、働き方改革に伴う多様な人材の労働参加を図ることや、AI及びRPA等の導入などにより生産性の向上を図ることが大きな課題とされています。また、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響及び消費税引き上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要があります。

当業界におきましては、この様な緩やかな景気回復基調、人材不足及び働き方改革等を背景に、引き続き企業の効率化、省力化への動向が継続しており、今後も事業再構築の手段としてアウトソーシングのニーズは高まっていくと考えております。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は970,698千円(前年同四半期比19.2%増)、営業利益は112,585千円(前年同四半期比121.7%増)、経常利益は112,134千円(前年同四半期比102.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は76,819千円(前年同四半期比77.5%増)となりました。

当社グループはペイロール事業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント区分を行っておりません。この単一セグメントであるペイロール事業の経営成績は次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間については、前連結会計年度に引き続き既存顧客との関係強化及び積極的な営業活動に取り組んでまいりました。売上高については前年同四半期に比べ、給与計算業務に付随する周辺業務の受注及び年末調整処理業務の受注が大幅に増加したこと等により19.2%増加し970,698千円となりました。利益につきましては、作業の標準化や子会社への業務委託等により更なる効率化が進み、前年同四半期に比べ売上総利益率は2.6ポイント上昇、また販売費及び一般管理費の抑制も進んだ結果、営業利益112,585千円(前年同四半期比121.7%増)、経常利益は112,134千円(前年同四半期比102.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は76,819千円(前年同四半期比77.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は733,111千円となり、前連結会計年度末に比べ157,403千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が205,929千円減少した一方、年末調整処理業務に係る売上高の計上等により、売掛金が356,364千円増加したことによるものであります。固定資産は前連結会計年度と比較して4,764千円増加し、153,871千円となりました。これは、主に工具、器具及び備品が4,010千円減少した一方、年末調整システムの改修等によりソフトウェアが9,860千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は886,982千円となり、前連結会計年度末に比べ162,167千円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は202,787千円となり、前連結会計年度末に比べ106,654千円増加いたしました。これは主に年末調整関連費用計上により買掛金が91,132千円増加したことによるものであります。固定負債は501千円となり、前連結会計年度末に比べ25千円減少いたしました。

この結果、負債合計は203,289千円となり、前連結会計年度末に比べ106,628千円増加いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は683,693千円となり、前連結会計年度末に比べ55,538千円増加いたしました。これは主に四半期純利益等の計上により利益剰余金が63,974千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.9%(前連結会計年度末は86.4%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年2月3日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	458,892	252,963
売掛金	106,885	463,250
為替予約	424	227
その他	9,542	16,744
貸倒引当金	△39	△75
流動資産合計	575,707	733,111
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	16,237	12,226
その他(純額)	9,476	11,908
有形固定資産合計	25,714	24,134
無形固定資産		
ソフトウェア	87,176	97,037
無形固定資産合計	87,176	97,037
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,936	4,254
敷金及び保証金	26,296	28,434
その他	6,984	10
投資その他の資産合計	36,217	32,699
固定資産合計	149,107	153,871
資産合計	724,815	886,982
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,942	103,074
未払金	12,146	9,642
未払法人税等	27,827	23,621
その他	44,216	66,448
流動負債合計	96,133	202,787
固定負債		
繰延税金負債	527	501
固定負債合計	527	501
負債合計	96,660	203,289

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,137	248,137
資本剰余金	83,113	83,113
利益剰余金	294,319	358,294
株主資本合計	625,570	689,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,017	—
為替換算調整勘定	△2,463	△7,882
その他の包括利益累計額合計	553	△7,882
新株予約権	2,030	2,030
純資産合計	628,154	683,693
負債純資産合計	724,815	886,982

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	814,689	970,698
売上原価	579,544	665,662
売上総利益	235,144	305,036
販売費及び一般管理費	184,370	192,450
営業利益	50,774	112,585
営業外収益		
受取利息	246	280
受取賃貸料	421	459
受取手数料	518	583
助成金収入	3,212	480
その他	1,328	120
営業外収益合計	5,728	1,923
営業外費用		
支払利息	—	3
為替差損	884	2,371
その他	317	—
営業外費用合計	1,202	2,374
経常利益	55,301	112,134
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,549
特別利益合計	—	3,549
特別損失		
訴訟和解金	—	4,714
特別損失合計	—	4,714
税金等調整前四半期純利益	55,301	110,969
法人税等	12,013	34,149
四半期純利益	43,287	76,819
親会社株主に帰属する四半期純利益	43,287	76,819

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	43,287	76,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,328	△3,017
為替換算調整勘定	△4,493	△5,418
その他の包括利益合計	△7,822	△8,436
四半期包括利益	35,464	68,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,464	68,383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。